

# 名古屋丸の内オフィスが 本格稼働しました！

駅から近く、開放的な会議スペースも備えた好立地な新拠点は、社員が『行きたくなる』居心地の良さを追求して設計されました。新たなイノベーションの舞台について、澤井社長と総合企画管理部の長谷さんに伺いました！

## 集中スペース(専用個室)

Web会議や集中したい時に最適な個室ブースを2室用意。昇降式デスクでスタンディング作業も可能です。計算や設計業務に没頭できるこの環境が、ミスのない丁寧な成果と、お客様からの信頼を支えています。

## ▼名古屋丸の内オフィスのコンセプト

### 「居心地」を追求した新拠点

2025年12月21日より、名古屋丸の内オフィスの本格稼働を開始しました。開設にあたり、私たちが最も共感し、重視したコンセプトは「居心地」です。社員が自ら「行きたくなる」オフィスであること、そして現在注力している新卒採用においても、学生の皆様に違和感なく魅力的に感じていただける空間であることを目指しました。

### ▼開設で苦労した点

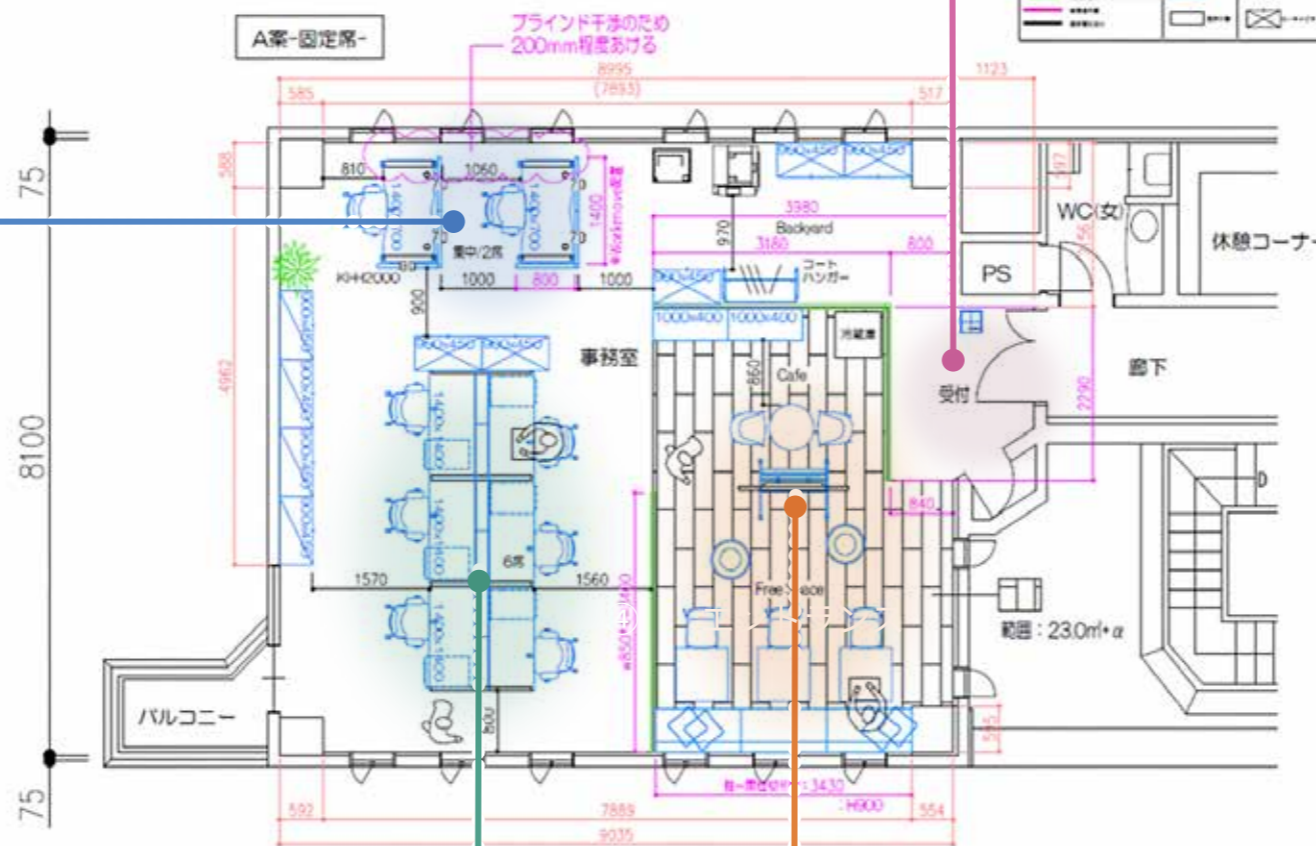
#### 地道な調整を重ねた開設準備

開設準備において大きな苦労はありませんでしたが、内装デザインの比較検討や管理会社との折衝など、細かな調整を一つずつ丁寧に進めてきました。大きなトラブルもなく、計画通りに稼働を迎えられています。



▲什器搬入前、まっさらな新オフィス

全席フリーアドレス制を導入。大型ディスプレイを完備しており、ノートPCを繋いで効率的に業務に打ち込めます。



### ワークスペース



### カフェスペース



ファミレス風のソファ席やコーヒーマーカーを設置し、ランチからお客様との打ち合わせまで幅広く活用。開放的な空間は、お客様との打合せ効率向上にも一役買っています。



### エントランス

## ▼多様な働き方を支える設備

### 念願のフリーアドレス制を導入

過去に別の事業所で検討した際は、紙媒体の多さなどが壁となり、実現に至りませんでした。しかし現在は全社員がノートパソコンを使用する環境が整ったため、念願の本格導入となりました。伏見や新栄など、名古屋市内の3拠点間で自由に働く場所を選択できます。

### リラックスと集中を使いわける空間

オフィス内は、業務に没頭できる「ワークスペース」と、リフレッシュを促進する「カフェスペース」に大きく分かれています。それぞれのエリアには社員の「居心地」と「生産性」を高めるための設備を随所に配置しました。

## ▼稼働後の手応えと今後の展望

### 部門を超えた交流の創出

稼働して最も手応えを感じているのは、事業部門をまたいだ交流が活発になったことです。これまで接点をもつ機会が少なかった部署の社員が丸の内オフィスのカフェスペースを利用するなど、自然なコミュニケーションが生まれています。常駐している社員からも、快適に業務ができていると好評です。

### 新たなイノベーションへの期待

今後期待しているのは、この交流から生まれる相乗効果です。製造と不動産という異なる部門が接点をもつことで、何か新しい事業が生まれることを期待しています。そこから共通のお客様へのアプローチに発展するなど、部門を超えたタッグが会社全体のイノベーションにつながれば大変嬉しく思います。この環境から生まれる新しい活気が、確かな仕事と信頼につながっていくと考えています。

当たり前の徹底が築く

お客様からの

# 嬉しい声

お客様から信頼を得るための秘訣は、決して特別なことではありません。日々の徹底した清掃や、こまめな「報・連・相」。現場での当たり前を誠実に積み重ねることが、結果として感謝の言葉につながっているのです。常に安全第一を掲げ、真摯な姿勢で現場に向き合う2名の社員のエピソードから、日々の業務のヒントが見えてきます。

お客様からの嬉しい言葉

「綺麗に仕上がってよかったよ」

大手企業様の現場で補修工事を担当した際、無事に工期通り完了し、お引き渡しの場で「綺麗に仕上がってよかったよ」と直接感謝のお言葉をいただきました。自分が関わった現場でお客様に喜んでいただけたことは、今も大きな励みとなっています。



名古屋南事業所 第二工事事務

つちや すくむ  
**土屋 優さん**

## 良い結果につながった秘訣

現場を整えることを徹底して意識

引き渡し前の清掃を徹底し、見栄えを整えるよう心がけています。私自身、上司がきっちり現場を管理する姿を見て大きな影響を受けてきました。お客様の職場をお借りして作業をしている以上、綺麗な状態でお引き渡しするのは当然の務め。その当たり前の徹底が評価につながったのだと感じています。

## 信頼関係を築くために意識していること

柔軟な対応とお客様の目を意識した行動

柔軟な対応とお客様の目を意識した行動を徹底しています。まずは、軽微な変更や小さな傷の補修など、できる範囲で臨機応変に対応し、喜んでいただけるよう努めています。また、安全面で問題がなくても、お客様から見て不安や誤解を招くような振る舞いは厳禁です。所作一つひとつに細心の注意を払い、安心感や信頼に繋げていきたいと考えています。

今後の目標

無事故・無災害で、  
予定通りに工事を納めること

現在は現場監督として職人さんたちを見る立場にもなりました。自社のルールはもちろん、お客様先のルールを全員に守ってもらう必要があります。ただ伝えるだけでなく、皆が納得して自然と安全行動をとれるよう、うまく伝える方法を工夫していきたいと考えています。今後も一つひとつの現場を問題なく丁寧に納め、着実に信頼を積み重ねていきたいと思っています。



お客様からの嬉しい言葉

「細かなところまでよく気づいてくれたね」  
「早めに終わらせてもらえて助かった」

2026年1月から2月にかけて担当した、建物の外回りを行う工事にて、お客様からこのようなお声をいただきました。現場での入念な確認により、施工上の確認事項を早期に発見。すぐに職人さんと連携して的確な指示を出し、迅速に解決できたことが、予定通りの完工とおお客様の安心につながりました。



河和事業所 第一工事事務

さかもと じゅん  
**坂本 淳さん**

## 良い結果につながった秘訣

疑問点や気づいた点は必ずお客様に確認

報・連・相の徹底が実を結びました。現場では、実際に設備工事を行うメーカーなどから「ここはどのように収めるべきか」と、判断を求められる場面があります。しかし、お客様の設備を扱う以上、現場管理を担う私の独断で進めることは避けるべきだと考えています。メーカーから疑問が出た際もすぐにお客様へ確認の連絡を入れ、「もともとはこの状態でしたが、この方法で進めてよろしいでしょうか」と伺うようにしたのです。現場の状況や本来の仕様については、いち早くお客様にお伝えしました。密な連絡が、結果的に的確かつ迅速な完工につながったのです。

## 信頼関係を築くために意識していること

指示出しから事務作業まで丁寧にこなした上で、客観的な視点で現場を見る

現場での指示出しから、お客様の目には触れない事務作業にいたるまで、一つひとつの工程に丁寧に向き合うことを大切にしています。また、現場を見て回る際は、先輩や上司からのアドバイスを受け、客観的な視点を意識しています。自分の主観にとらわれず、「後から現場に入った方など、他の人が見たときにどう考えるか」を想像するよう努めております。

今後の目標

スキルを身につけ、  
安全第一の現場監督に

今は現場監督補佐の立場として、現在は週1回の勉強会に参加し、現場監督への昇格を目指しています。責任は大きくなりますが、事故が一切起きない、安全な現場を取り仕切れる現場監督を目指して努力を続けていきます。

